

Master Course

市原多朗 マスターコース

明日への希望コンサート

音楽のまち酒田 故郷から未来へ受け継がれる声楽の輝かしい伝統

市原多朗
指導者

©篠原栄治

工藤和真
テノール

坂東達也
テノール

©Taira Tairadate

近藤広志
ピアノ伴奏

金城理沙子
ソプラノ

喜納響
テノール

ヴァイタリ・ユシュマノフ
バリトン

2022年 6月25日(土)

希望ホール (酒田市民会館)

大ホール 13:15開場 / 14:00開演

TICKET INFORMATION

*発売日

4月21日(木) 10:00~

*料金

S席 3,000円 (U-25 1,500円)

A席 2,500円 (U-25 1,000円)

*プレイガイド

・希望ホール窓口 (9:00~19:00)

休館日: 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

・みずほ八文字屋

※未就学のお子様はご入場いただけません。
※U-25 チケットは公演当日時点で25歳以下の方が対象です。
入場時に生年月日が確認できる証明書をご持参ください。

Program

ヴェルディ「椿姫」より “乾杯の歌”

ドナウディ “ああ、私の愛する人よ”

ヘンデル「ジュリアス・シーザー」より “この剣の輝きから”

ヴェルディ “哀れな男”

ヴェルディ「マクベス」より “ああ 父の手は”

プッチーニ「ラ・ボエーム」より “ムゼッタのワルツ”

プッチーニ「ラ・ボエーム」より “冷たき手を”

トステイ “暁は光から闇を隔て”

ドニゼッティ「愛の妙薬」より “何て美しい人”

トステイ “夢”

ヴェルディ「ルイザ・ミラー」より “穏やかな夜には”

ビゼー「真珠採り」より 二重唱 “聖なる神殿の奥深く”

ヴェルディ「リゴレット」より “慕わしい人の名は”

ヴェルディ「リゴレット」より “頬の涙が”

ジョルダノー「アンドレア・シェニエ」より “祖国の敵”

プッチーニ「トゥーランドット」より “誰も寝てはならぬ”

※曲目、曲順は変更になる場合があります。

【新型コロナウイルス感染防止対策について】

- ・37.5度以上の発熱、咳、咽頭痛などの症状がある方はご入場いただけません。
- ・ワクチン接種がお済みの方も、ご来場の際はマスクの着用をお願いします。着用がない場合はご入場をお断りする場合があります。
- ・参加者の中から新型コロナウイルスの感染が確認された場合、保健所の聞き取り調査にご協力いただく場合があります。



© 篠原栄治

世界の歴史ある歌劇場において、
数々の主役を務めた
日本を代表するオペラ歌手市原多朗が贈る、
魅惑のオペラの世界。
国内外で活躍する若手声楽家の瑞々しい歌声を
どうぞお楽しみください。

Profile

プロフィール

市原多朗 (指導者)

Taro Ichihara

東京藝術大学、同大学院修了。第48回日本音楽コンクール第1位、第15回日伊声楽コンクール第1位。80年二期会の「ヴェルテル」でタイトルロールを歌いオペラ・デビュー。ローマ・サンタ・チェチリア音楽院で研鑽を積む。82年リスボンのサン・カルロス歌劇場で海外デビュー。84年ザルツブルク音楽祭、パリ・オペラ座に日本人男性歌手として初登場。以後、メトロポリタン歌劇場、ナポリ・サンカルロ劇場、トリノ王立歌劇場、ボローニャ歌劇場、ハンブルク国立歌劇場、ケルン歌劇場、リヨン歌劇場、テアトロ・コロネ等、正統派ベル・カントの圧倒的な美声と表現力で世界を舞台に活躍。芸術選奨文部大臣賞新人賞、ジロー・オペラ大賞、酒田市特別功労表彰受賞。酒田市名誉市民。



近藤広志 (ピアノ伴奏)

Hiroshi Kondo

武蔵野音楽大学卒業。同大学大学院修了。文化庁新進芸術家海外派遣研修員としてミラノ・スカラ座副指揮者ダンテ・マツォーラのもとで研鑽を積む。歌い手を触発する美しいピアノの響きには定評があり、数多くの歌手から信頼を得ている。沖縄県立芸術大学を経て、現在は京都市立芸術大学にコレベティータルとして勤務し、明日のオペラ界を担う若い歌手たちを支えている。文化庁芸術家在外研修員の会 会員。京都市立芸術大学非常勤講師。

コンサート出演者



金城理沙子

(ソプラノ)

Risako Kinjyo

沖縄県出身。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。卒業時、西銘順治賞を受賞。同大学院声楽専修修了。これまでに市原多朗、坂名城律子、豊田喜代美、五郎部俊朗の各氏に師事。第46回新報音楽コンクール声楽部門一般の部第1位および特賞を受賞。第20、25回おきでんシュガーホール新人演奏会オーディション入選。平成26、27年度公益財団法人青山財団奨学生。2019年沖縄県で開催された第43回全国育樹祭にて国歌独唱。2021年新宿文化センター大ホールにて行われた日本オペラ協会主催《キジムナー時を翔ける》マナー役にてオペラデビュー。日本演奏連盟会員。

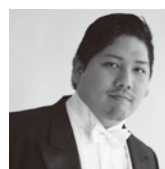


喜納響

(テノール)

Kina Hibiki

沖縄県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程(独唱)修了。日本トスティ歌曲コンクール2019にて5位入賞及び、トスティ・ベルカント賞受賞。ベートーヴェン作曲「第九」などのテノールソリストを務める他、ブッチーニ作曲《トスカ》《ジャンニ・スキッキ》、ヴェルディ作曲《オテッロ》などのオペラにも出演。演奏の傍ら、後進の指導や不登校児童生徒を対象とした音楽ワークショップを行うなど、「社会」と「音楽」を結び付ける活動も行っている。これまでに市原多朗、山田健の両氏に師事。現在、沖縄県立芸術大学非常勤講師、(一社)楽友協会おきなわ副代表理事、森の音楽館那覇・安里校代表。



工藤和真

(テノール)

Kazuma Kudo

岩手県出身。東京藝術大学卒業、同大学院修了。声楽を小原一穂、佐々木朋也、市原多朗の各氏に師事。市川市文化振興財団主催第28回新人演奏家コンクール優秀賞。第33回練馬区新人演奏会オーディションにて最優秀賞を獲得。第1回かわさき新人声楽コンクール第1位。第84回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第53回日伊声楽コンクール第1位、及び歌曲賞(岡部多喜子・嶺貞子賞)を受賞。第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位(最高位)、及び聴衆賞を受賞。東急ベルバスターコンサート2019-2020ではベートーヴェン《交響曲第九番》テノールソリストとして出演。オペラではマスクーニ作曲《カヴァレリア・アルスティカーナ》トゥリッドウでデビューを果たした。これまでに《椿姫》アルフレード、《トスカ》カヴァラドッシなどで出演。



坂東達也

(テノール)

Tatsuya Bando

大阪府出身。大阪府立夕陽丘高校音楽科(ヴァイオリン科)卒業、東京藝術大学声楽科卒業。同大学院音楽研究科(修士課程)独唱科修了。これまでに声楽を金丸七郎、菅英三子、市原多朗、竹本節子の各氏に、和声法を國越健司氏に、合唱指揮法を松原千振氏に師事。J.Strauss II「こうもり」(アルフレード)、W.A.Mozart「ドン・ジョヴァンニ」(ドン・オッターヴィオ)、「魔笛」(モノスタス)、G.Verdi「椿姫」(ガストーネ)などに出演。また宗教曲ソリストとしてJ.S.Bach「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」(福音音楽家)、G.F.Händel「メサイア」などに出演。第18回滋賀県新人演奏会において最優秀賞を受賞。MusikEngel合唱団正団員。パッサコレギウムジャパン、アンサンブルフロット、タローシンガーズ各メンバー。神戸クルーザーコンチェルト専属アーティスト。



ヴィタリ・ユシュマノフ

(バリトン)

Vitaly Yushmanov

サンクトペテルブルク生まれ。ライプツィヒ音楽演劇大学を卒業。2015年春より日本に拠点を移し、これまでに、びわ湖ホールオペラ「ラインの黄金」、「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」、東京芸術劇場他の全国共同プロジェクト「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵役などに出演し、CDは4枚リリース。2021年1月、NHKワールドTVの東日本大震災10周年記念プロジェクト「世界をつなぐ「花は咲く」」に参加。4月、新国立劇場でのダブルビル公演「夜鳴きうぐいす/イオランタ」に出演。2022年10月新国立劇場でのヘンデル作曲、歌劇「ジュリオ・チェザーレ」にアキッラ役で出演予定。日本トスティ歌曲コンクール2015第1位、第52回日伊声楽コンクール第1位及び最優秀歌曲賞受賞。

【お問い合わせ先】 希望ホール(酒田市民会館)

〒998-0043 山形県酒田市本町二丁目2番10号
TEL 0234-26-5450
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)

*希望ホール 公式ウェブサイト
<https://kibou-hall.sakata.yamagata.jp>

希望ホール